

(別紙)

## 厚生労働省の業務改善事例 (平成22年5月第2週までの報告分)

### 改善事例 1

ハローワーク業務改善コンクールの実施

#### 【改善点】

ハローワークのサービス改善の取組について、全国のハローワークを対象に公募を行い、優秀な取組について厚生労働大臣表彰を行うとともに、全国で共有・活用することを通じて、サービスの更なる向上を図ることとしました。

5月に公募を行い、夏頃までに審査等を行う予定です。

#### (参考) サービス改善の取組の具体例

- ・ 求職者(事業主)に対する窓口サービスメニューの説明方法の工夫
- ・ 関係機関(地方自治体等)と連携した施策の効果的な周知方法
- ・ 利用者の待ち時間短縮のための工夫
- ・ 窓口サービス向上のためのマニュアルの作成

(照会先)

職業安定局総務課公共職業安定所運営企画室企画係(内線 5683)

## 改善事例 2

### 医師不足の実態調査に関する地域ブロックごとのきめ細かい対応

#### 【改善点】

医政局においては、今後、医師不足の実態に関する調査を進めることとしており、4月27日には各都道府県に対して調査方法を説明し、意見交換を行いました。この調査概要は夏過ぎまでに取りまとめ、公表する予定です。

この調査を進めるに当たって、医政局の関係課からなる特別の検討チームを設けるとともに、都道府県からの照会への対応や調査後のフォローアップも含めてきめ細かく対応することができるよう、局横断的に、地域ブロックごとの担当チームを設置しました。

こうした取組を通じ、各都道府県の協力の下、的確に医師不足の実態を把握してまいります。

#### （参考）今後のスケジュール

5月中旬	都道府県に調査票を送付
夏過ぎ	調査概要の取りまとめ、公表

（照会先）

医政局指導課（内線 2771）

### 改善事例 3

「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」の動画掲載

#### 【改善点】

食中毒は家庭でも多く発生していることから、食品の保存方法や調理の際の注意点など、食中毒菌による汚染・増殖を防ぐための「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」を動画で分かりやすく作成して You Tube に掲載し、国民の皆様への注意喚起を行いました。

(参考) 「家庭でできる食中毒予防の6つのポイント」

<http://www.youtube.com/watch?v=TI03jn2ElbU>

(照会先)

医薬食品局食品安全部監視安全課

食中毒被害情報管理室 (内線 4239)

### 改善事例 4

公共調達におけるワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業の評価

#### 【改善点】

男性の育児休業取得や育児参加を促進していくためには、「イクメン」(育児に積極的な男性)の周知・啓発を進めていくことが重要です。

このため、「イクメン」の周知・啓発等のための広報事業を実施することとし、4月27日に厚生労働省ホームページにおいて入札公告を行い、委託先について、一般競争入札総合評価落札方式により民間企業等からの参加を募っているところです。

この審査に当たっては、企業におけるワーク・ライフ・バランスの自主的な取組を促進するため、ワーク・ライフ・バランス実現のための取組等を評価項目の1つとして加えることとしました。

(照会先)

雇用均等・児童家庭局職業家庭両立課

啓発援助係 (内線 7866)

## 改善事例 5

「医療機関・薬局の受診等に当たっての留意点」の周知

### 【改善点】

医療現場における医師の過重な勤務などの問題を解決していくため、また、保険料や窓口負担としてご負担いただく医療費を有効に活用するため、医療機関や薬局を受診等する際に留意していただきたい事項について、保険者宛の通知を発出し、加入者への普及啓発に取り組んでいただくようお願いをしました。

< 「医療機関・薬局の受診等に当たっての留意点」の具体例 >

- ・休日や夜間に開いている救急医療機関は、緊急性の高い患者さんを受け入れるためのものです。休日や夜間に受診しようとする際には、平日の時間内に受診することができないのか、もう一度考えてみましょう。
- ・薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。（薬のもらいすぎに注意しましょう。）

（照会先）

保険局総務課企画調査係（内線 3219）

## 今週の現場訪問・意見交換

### 中小規模水道に関する市町村との意見交換

#### 【改善点】

全国市町村の中小規模水道（特に簡易水道）が直面する重要かつ緊急課題について検討・審議・決議等を行う全国簡易水道協会東北・北海道ブロック会議に職員が出席しました。

簡易水道事業の広域化に関し、国庫補助の拡充に関する要望に加え、

- ・借入金に依存する事業者も多く、統合後の経営の効率化が課題
- ・国庫補助制度を通じた統合の推進ではなく、統合後の経営ノウハウの指導・支援が必要

といった意見が出されました。特に、先進的に県単位で地域水道ビジョンを策定した県からは、事業効率化、経営基盤強化に対する意見が出され、地域全体でのビジョンづくりの重要性、それに基づく体制整備の問題意識が共有されました。（4月22日実施）

（照会先）

健康局水道課技術係（内線 4028）

（注）この資料は、厚生労働省内の各部局において実施した業務改善事例や実態把握のための取組の中から、主なものを抜粋し、取りまとめたものです。